

平成30年度定時社員総会

総務委員会

(一社)東北地質調査業協会の平成30年度総会は、平成30年5月11日に仙台市宮城野区の「仙台ガーデンパレス」に於いて開催されました。会員総数48社の内、出席36社、委任状提出12社で過半数以上の出席が得られました。

総会は、平成29年度の事業報告と収支報告の審議がなされ、引き続き平成30年度事業計画案と予算案、理事交代、入会会員についての報告が行われました。以下に概要を報告します。

1. 理事長挨拶

皆様こんにちは、理事長の高橋でございます。本日はお忙しい中、平成30年度の定時社員総会にご出席いただきましてありがとうございます。ここ数日は冬に戻ったかのような寒さが続いておりましたが、本日は一転して夏を思わせる陽気の中、皆様をお迎えすることができました。

現在の体制は昨年の役員改選を経て丸一年過ぎました。また、一昨年の11月に法人化となつてからは1年半が過ぎました。社団法人となつて活動方針が大きく変わった訳ではありませんが、対外的な活動の範囲は確実に拡大してきていると感じております。そんな中で1月の賀詞交歓会でもご報告しましたけれど、一般財団法人の国土地盤情報センターがこの4月から立ち上がりまして、地盤情報を集約しその情報を活用する取り組みが、国の後押しを受けてスタートしております。我々が持つ地盤情報をしっかりと管理して行くことが、これからの公共事業のベースになることとなります。

また、地質リスクについて見れば、1ヶ月程前に大分県で斜面の大きな崩落が発生しました。尊い人命が奪われた災害でしたが、事前に大雨が降ったとか、地震があったとかの特に崩壊のキッカケとなるような原因は見あたらず、突然崩落が発生したということです。とは言え原因はある訳で、地盤が抱えている危険性(地質リスク)を事前に把握しておくことの重要性が示された災害と言えます。災害が繰り返し発生している現状で、地盤情報に精通した我々地質技術者が果たしていく役割はますます大きくなっていくと考えられます。そんな中で、我々の業界だけに限ったことではないですが、担い手の育成・確保が大きな課題となっております。国の方では働き方改革で週休二日制の推進を謳っており、各社様もそれぞれに取り組んでおられると思いますが、人員不足の中での生産性の確保という問題に直面する訳であります。地質業界がこの問題・課題にどう取り組んで行くべきか、皆さんで知恵を出し合って一つずつ解決して行く必要があると思っております。

昨年度から始めましたボーリングマイスター「匠」の認定ですが、昨年度は6名、今年度は3名の方々が認定されました。これらの方々の技術をしっかりと伝承して行かなければならないと思っておりますが、若い人達が自分も匠の人達の様になりたいと思うようでなけ

.....

れば、意味がないとも思っています。ボーリングという仕事の面白さ、奥深さ、魅力を如何に伝え発信して行けるか、ということも大きな課題と考えております。そういうことも含めて、皆様と課題を解決しながら業界を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後とも是非よろしく願いいたします。

2. 議事

議長：高橋理事長

議事録署名人：国土防災技術(株)東北支社

齋藤 彰朗 氏

日栄地質測量設計(株)

畠 良一 氏

第1号議案 平成29年度事業報告

会員に関する報告が事務局長からあった。

平成29年4月1日現在で49社。平成30年3月31日現在は1社減の48社。

賛助会員については平成29年4月1日現在で10社、平成30年3月31日現在は1社増の11社。

役員及び委員会に関する報告では、役員については総会改選後の変更はなし。委員については広報委員会の渉外部会長であった基礎地盤の上保氏が転勤したため、明治コンサルタントの米川氏が渉外部会長となり、上保氏の欠員補充として広報委員会の大地編集部会から四戸氏が渉外部会に移った。また、総務委員会に基礎地盤の中田氏が加わっていることが報告された。

引き続き事務局長より「各種事業に関する事項」の中で全地連に関する事項として、総会・理事会・事務局長会議・各種委員会・その他事項に関する報告があり、東北地質調査業協会に関する事項では各委員長からそれぞれの委員会に関して報告があった。

第2号議案 平成29年度収支会計報告及び監査報告

第1号議案に引き続き平成29年度の収支決算について事務局長より報告があった。

引き続き加藤一也監事から、収支の諸資料を精査した結果、決算が適正かつ妥当に行われているとの監査報告があった。

以上、第1号議案、第2号議案について、異議なく承認された。

報告事項1 平成30年度事業計画(案)

平成30年度の事業計画(案)及び主たる行事予定について事務局長及び各委員長より説明があった。

.....

報告事項2 平成30年度予算

事務局長から、平成30年度予算について正味財産増減予算書の説明があった。

報告事項3 理事交代の件

理事所属会社の異動による以下の理事交代について報告があった。

宮城県理事	前任：秋山 純一 (株)ダイヤコンサルタント前東北支社長
	後任：齋藤 勝 (株)ダイヤコンサルタント東北支社長
宮城県理事	前任：鈴木 益夫 中央開発(株)前東北支店長
	後任：三浦 正人 中央開発(株)東北支店長

報告事項4 入会会員の件

平成30年4月1日付で株式会社興和が入会したことの報告があった。

その他

総会終了後、匠制度における認定者3名の表彰式が、総会会場にて行われました。その後懇親会場に席を移し高橋理事長挨拶の後、来賓の国土交通省東北地方整備局企画部長の渡邊泰也様より挨拶を頂き、副理事長の太田理事の乾杯発声で宴会となりました。各テーブルでは近況を話しあうなど、会員相互の親睦を深め、大いに盛り上がりました。最後に早坂監事の締めでお開きとなりました。